

この冬休み、本校の生徒全員が大きな事件や事故もなく過ごせた事、そして再び皆さんの元気な姿を見る事ができた事をとても嬉しく思います。また本日もバレー部の皆さんが体育館を温めて下さった事にも心から感謝しています。

さて令和2年が始まりました。はるか昔から人は止まる事のない時間に区切りをつけて今までの自分を振り返り、新たな夢や希望を持つ事をしてきました。その区切りの1つが新年であり新学期です。そんな区切りの時を迎えた今、皆さんはどんな夢や希望を持ちましたか。3年生ならば希望校に合格したい、1・2年生ならば部活動で優勝したい、苦手な教科を頑張りたい・・・皆さんは新年を迎えてそれぞれの夢や希望を持った事でしょう。しかしそうした夢や希望は残念ながら一人では叶えられない事実気づいていますか。勉強を頑張りたい、部活動で優勝したい、希望校に合格したいと思っても授業中うるさかったり、部員のやる気がなかったり、学校や家庭の居心地が悪かったりしたならば、その夢や希望が叶う事が難しくなります。いかに多くの人と信頼関係や豊かな心の交流を築き、共に協力し助け合う事が夢や希望の実現にはとても大切なのです。それは自分が困った時に助けてくれる人やいつも応援してくれる人の存在です。しかし人との協力や助け合いは他人が作ってくれるものではなく、皆さん一人ひとりの言動が作っていくものなのです。人は心で生きています。間違った事したら素直にごめんなさいと言える事、みんなもやっているという様な言い訳をしない事、人のせいや批判ばかりする事・・・こうした言動はたとえその場は収まっても結果的に人としての信頼や信用は失う事になるのです。人のために頑張れる人、人の役に立つ人こそが実は自分の夢や希望を叶える一番の近道なのです。人は顔や性格が違いうように夢や希望が叶う時期も違います。人と比べて悲しんだり嫉妬したり怒ったりする必要はありません。人と比べる事は自分を苦しめる事になります。人と自分を比べる事なく、自分の心と正直に向き合いながら、やるべき事を一つひとつ積み上げて行って下さい。そして時期を待つ勇気と心を持てると良いですね。そんな令和2年になる事を願っています。

最後に2-1担任の川内先生からいただいた学級通信に掲載された金子みすゞさんの詩を紹介して式辞を終えたいと思います。

「愛 それは行動です」

愛 それは 言葉ではなく 汗をながすこと  
愛 それは 言葉ではなく 捧げ合うこと  
すべての 喜びを とともに分け合い  
悲しみ 苦しみを とともに歩むこと  
愛 それは 言葉ではなく 永遠につづくもの  
愛 それは 言葉ではなく 信じあうこと